

### 新規就農者紹介

新規就農者の皆さんに今後の意気込みや抱負等話をいただきました。

#### 蘭越町

ながね たつひ  
長尾 竜さん



私は、北海道立農業学校で2年間の勉強を経て就農しました。現在は、実家である越前谷農場で働いています。正直まだまだ分からない事も多いので様々な事を祖父から教えてもらい、早く一人前になれるよう頑張りたいと思います。

#### 留寿都村

ふくしま まさと  
福島 将人さん



この春、6年間務めた公務員を退職し、妻の実家で就農しました。農業については、何もわからない状態でスタートしましたが毎日刺激を感じながら日々過ごしています。家族や近くにいる先輩方に支えてもらいながら、一人前の農家になれるよう頑張ります。

#### 留寿都村

いまい だいけい  
今井 大輔さん



今年の3月に酪農学園大学を卒業し、地元留寿都村にて新規就農致しました。大学で学んだこと・研究したことなどを、少しでも実際の農業に活かせるように、まずは基本的なことから覚え、そのうえで自分なりの農業を模索していきたいと考えております。

#### 京極町

ふなば だいち  
船場 大地さん



私は、これまで父の下で農業に関わってきましたが、帯広農業高校を卒業し学んだ知識を活かし、本格的に取り組んでいきたいと考えています。まだまだ技術的な部分や学べる知識も多いと感じているので一人前を目指して努力していきたいです。

## 未来を担う新規就農者

### 新規就農者激励会開催

6月13日、倶知安町ホテル第一会館にて、「令和6年度新規就農者激励会」を開催しました。本年度は、学卒・新規参入者等10名が就農し、激励会には新規就農者、女性部長、青年部長、JA役職員合わせて34名が出席しました。激励会では、新規就農者を紹介した後、代表して留寿都村の福島将人（ふくしままさと）さんへ、八田組合長からJA北海道中央会の激励状贈呈事業による激励状と記念品が贈呈されました。八田組合長は主催者挨拶で、農業協同組合の設立の経過と必要性について説明し、「新規就農者の夢の実現のため、JA、役職員がしっかりとサポートしていく」と述べ、新規就農者へのエールを送りました。激励会終了後の懇親会では、新規就農者と役員らが交流を深めました。



留寿都村 福島将人さんへ激励状贈呈



新規就農者のみなさんの今後のご活躍を期待しています！



## 京極町

ぎょうてん ゆうすけ  
行天 勇祐さん

私は今年の3月に拓殖大学北海道短期大学を卒業し、現在は京極町で営農しています。これから青年部活動や視察活動等に参加し、そこで学んだ経験や知識を実践して一人前の農家になりたいと思います。



## 京極町

たんの しゅり  
丹野 珠璃さん

学生の頃から家の農作業を手伝い農作業の楽しさを知り、高校を卒業後、一旦自衛隊へ行きましたが家の仕事を手伝い母や祖母の負担を減らしたいと思い、令和4年の8月から家の仕事を手伝っていました。今後は、まだまだ自分でできる事が少ないので、青年部の先輩方や周りの農家の方々と交流し勉強し出来る事を増やして行きたいと思っています。



## 京極町

おいた けいご  
老田 圭吾さん

今年から農業を営む、老田圭吾と申します。私は倶知安高校を卒業後すぐに実家の農家を継ぎ始めました。なぜ他の職業ではなく農家を選んだかというと、親に子供のころから農家はいいぞお。と刷りこまれたからです。夢のような職業だと心を躍らせていたのですが、当然楽な仕事でないですね。なので今後は楽に楽しくできることを目標に頑張ります。様々な意見を取り入れ、工夫し仕事の効率を上げて、より良い農業を目指します。



## 倶知安町

おもて けんしろう  
表 健志郎さん

この度、倶知安町にて就農いたしました。以前までは千歳市で職についておりましたが実家に帰ってくることになりました。現在は妻と子ども二人の四人で生活をしており、生活面でのサポートをいただいています。農家としての土台もまだ出来ない人間ですが、とても頼りになる先輩方が周りに沢山いらっしゃり、親からも様々な事を学びながら、一農家として頑張っていきます。



## 倶知安町

ひがしもと たくみ  
東本 巧さん

倶知安農業高校を卒業後すぐに家業を手伝いました。小学生の頃から手伝いをしていたので苦労せず仕事をこなすことができました。現在は、自分ができる仕事をしながら生活しています。今後の抱負は、大きな怪我なく生活していくことです。

